

たちほらせいいちろう
立原清一郎（番方若同心→隠密廻り）、美琴（妹）

しんざえもん
新左衛門（亡き父 定町廻り同心） — 千代（亡き妻）

ふるしち
古七（小者）、お米（下女）

でんぞう
伝蔵（御用聞き）

いじゅうろう
松田伊十郎（作事方普請同心）、さぶろうた
三郎太（三男）、さなえ
早苗（娘）

ひいらぎ
柊 東十郎（定町廻り同心）、ゆずり
柚里（娘）

きね
杵屋（小間物問屋）、はなえ
花江（娘）

こうのともしん
河野友野進（清一郎のうぶかた
生方道場同輩）

かがのかみうじのり
岩瀬加賀守氏記（南町奉行）

かめ えもん
信藤亀右衛門（南町年番方与力）

きちのすけ
町田吉之助（南町隠密廻り同心→用部屋手付同心）

さえぐさけんのすけ
三枝健之助（南町同心）

きさづかごんいちろう
笹塚権一郎（南町定町廻り同心）

たかずみ
西田順之助（高積見廻り同心）、ちえ
千枝（娘）

おしだ
忍田雄一郎（養生所見廻り同心）、孫三郎（三男）

かまた
鎌田助左衛門（信州の藩士）、文（亡き娘）

うぶかた
生方道場（鏡新明智流）

そえだ
添田道場（中西派一刀流）

はなのやそうべえ
花野屋惣兵衛（扇屋） — おくめ（女房）

さきち
佐吉（番頭）、しんきち
伸吉（手代）、うしまつ
丑松（手代）

おたけ（女中頭）、おまつ、おのぶ、おうめ、おそめ

ぶん えもん
文右衛門（口入屋）

つくよみてい
月読亭（料理屋）、おすね（女中頭）、お豊（女中）

ふるかわや
古河屋（口入屋）

かすみ
霞の長兵衛

まむし
蝮の久兵衛（島帰り）、ごんばち
権八（破落戸）

べんごろう
七化けの弁五郎（凶状持ち）

ぬえ まちぞう
鶴の町蔵（盗賊）、しまじろう
島次郎、みのじ
蓑次、かまさぶろう
鎌三郎、ごすけ
五助、かついち
勝一、もろぞう
師造